

評価領域	学習指導
------	------

重点目標	○ 自ら学び、共に高め合う子どもの育成 ～学びをつなぐ子どもの姿を目指して～
------	---

現 状	R 4 県学習状況調査 県比較																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>国 語</th> <th>社 会</th> <th>算 数</th> <th>理 科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 年</td> <td>- 0.7</td> <td>- - -</td> <td>- 5.9</td> <td>+ 0.7</td> </tr> <tr> <td>5 年</td> <td>- 1.2</td> <td>- 9.4</td> <td>- 0.3</td> <td>+ 2.8</td> </tr> <tr> <td>6 年</td> <td>+ 2.3</td> <td>- 1.8</td> <td>+ 1.3</td> <td>+ 1.6</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県平均との差が約+- 3. 0の教科が多く、概ね基礎的・基本的な学習内容が身に付いていると考える。今後も、少人数のよさを生かして授業改善を図りたい。 ・ 課題としていた国語で県平均並みとなり取組の成果が見られた。4年算数、5年社会が県平均より5%以上下回っている。全体的に情報を正しく読み取ることに課題が見られる。そのため何が問われているか、正しく判断できていない傾向がある。 ・ 語彙が不足している傾向があり、知識及び技能を活用する力がまだ十分でない。 	教科	国 語	社 会	算 数	理 科	4 年	- 0.7	- - -	- 5.9	+ 0.7	5 年	- 1.2	- 9.4	- 0.3	+ 2.8	6 年	+ 2.3	- 1.8	+ 1.3	+ 1.6
教科	国 語	社 会	算 数	理 科																	
4 年	- 0.7	- - -	- 5.9	+ 0.7																	
5 年	- 1.2	- 9.4	- 0.3	+ 2.8																	
6 年	+ 2.3	- 1.8	+ 1.3	+ 1.6																	
	<p>R 4 県学習状況調査質問紙 「1-4 ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい」 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>あてはまる (県比較)</th> <th>どちらかといえばあ てはまる (県比較)</th> <th>どちらかといえ ばあてはまらない</th> <th>あてはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 年</td> <td>73.7(+ 5.4)</td> <td>21.3(-5.2)</td> <td>0</td> <td>5.3(4.0)</td> </tr> <tr> <td>5 年</td> <td>50.0(-13.9)</td> <td>25(-15.8)</td> <td>25(+20.5)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>6 年</td> <td>68.8(+ 4.2)</td> <td>31.3(- 0.9)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えている子どもが多い。学習を生活や将来に生かそうとする意識は高い。「あてはまる」と言い切れる子が県平均より少ない学年がある。 ・ 振り返りの視点を示し、自分の変容を実感したり新しい問いを見いだしたりできるようにしている。 		あてはまる (県比較)	どちらかといえばあ てはまる (県比較)	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはまらない	4 年	73.7(+ 5.4)	21.3(-5.2)	0	5.3(4.0)	5 年	50.0(-13.9)	25(-15.8)	25(+20.5)	0	6 年	68.8(+ 4.2)	31.3(- 0.9)	0	0
	あてはまる (県比較)	どちらかといえばあ てはまる (県比較)	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはまらない																	
4 年	73.7(+ 5.4)	21.3(-5.2)	0	5.3(4.0)																	
5 年	50.0(-13.9)	25(-15.8)	25(+20.5)	0																	
6 年	68.8(+ 4.2)	31.3(- 0.9)	0	0																	

P

具体的な目標	<p>〈目指す子ども像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学びと学びをつなぐ子ども ◇学びを新たな場面や状況につなぐ子ども ◇学びを自分の成長へつなぐ子ども ○県学習状況調査の各教科において県平均を上回る。 ○県学習状況調査質問紙の「1-4 ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい」の質問において、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合を維持するとともに、「あてはまる」の割合が県平均を上回る。
--------	---

目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの思いや思考に沿った単元や題材、一単位時間の学習過程の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの問いやつぶやき、つまづきなどを大事にした課題設定の工夫 ・ 各教科等の「見方・考え方」を働かせることのできる学習過程の工夫 ・ 学びをつなぐ単元構成やカリキュラムデザインの工夫 ○学びを深め、共に高め合う学び合いの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 視点を明確にした学び合い ・ 思考を深める手立ての工夫 ・ 必然性のある学習形態の設定 ○子どもの学びを見取るための評価の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価の場面や方法の工夫 ・ 学習改善と指導改善につながる学習評価の充実
------------	---

具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 子どもものの思考に沿った単元や題材となるよう、カリキュラムデザイン表を作成し、単元を入れ替えるなど、他教科やこれまで学んだことが活きる学びとなるようにした。 一人1台のタブレット端末を授業の中で活用し、互いの考えを交流しながら学習したり、考えを蓄積したりするなど、ICTを活用することにより学びが深まるようにした。 研究の視点に沿ったアンケートを7月と2月に行い、子どもの学びの取組状況を明らかにし、教師側の指導に対する振り返りを行い、授業改善に努めた。 	D																																								
達成状況	<p>R 5 県学習状況調査 県比較</p> <table border="1" data-bbox="422 470 1284 582"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>国語</th> <th>社会</th> <th>算数</th> <th>理科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年</td> <td>-13.4</td> <td>-</td> <td>-13.2</td> <td>-13.2</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>-0.9</td> <td>-0.3</td> <td>+0.3</td> <td>+0.5</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>+1.5</td> <td>-1.4</td> <td>+8.0</td> <td>-1.2</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 4年は個人差が大きく、国語、算数、理科で県平均を下回った。 5年は、国語、算数、理科、社会科ともに、県平均とほぼ同じ数値である。昨年度県平均以下であった算数で伸びがみられた。 6年は、国語、社会、理科が県平均とほぼ同じ数値である。算数は県平均と比較して8ポイント上回ることができた。 国語における読解力や表現力等が伸び、概ねよい力を発揮している。昨年度課題であった社会科でほぼ県平均並みであった。引き続き、他教科等の学習や複数の資料を関連付けて考える機会を計画的に設定し、力を伸ばしていきたい。 <p>R 5 県学習状況調査質問紙 「1-4 ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい」 (%)</p> <table border="1" data-bbox="422 952 1284 1086"> <thead> <tr> <th></th> <th>あてはまる (県比較)</th> <th>どちらかといえばあてはまる (県比較)</th> <th>どちらかといえばあてはまらない</th> <th>あてはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年</td> <td>69.2(+1.94)</td> <td>30.8(+3.6)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>78.9(+15.3)</td> <td>21.1(-9.7)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>56.3(-7.8)</td> <td>31.3(+0.9)</td> <td>12.5(+8.7)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えている子どもが多く、学習を生活や将来に生かそうとする意識は高い。肯定的に捉えている回答が県平均を下回っている学年があるが、昨年度と比較すると肯定的な回答をする子どもが増えた。</p>	教科	国語	社会	算数	理科	4年	-13.4	-	-13.2	-13.2	5年	-0.9	-0.3	+0.3	+0.5	6年	+1.5	-1.4	+8.0	-1.2		あてはまる (県比較)	どちらかといえばあてはまる (県比較)	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	4年	69.2(+1.94)	30.8(+3.6)	0	0	5年	78.9(+15.3)	21.1(-9.7)	0	0	6年	56.3(-7.8)	31.3(+0.9)	12.5(+8.7)	0	
教科	国語	社会	算数	理科																																						
4年	-13.4	-	-13.2	-13.2																																						
5年	-0.9	-0.3	+0.3	+0.5																																						
6年	+1.5	-1.4	+8.0	-1.2																																						
	あてはまる (県比較)	どちらかといえばあてはまる (県比較)	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない																																						
4年	69.2(+1.94)	30.8(+3.6)	0	0																																						
5年	78.9(+15.3)	21.1(-9.7)	0	0																																						
6年	56.3(-7.8)	31.3(+0.9)	12.5(+8.7)	0																																						

自己評価	<p>(評価) A</p> <p>(根拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県学習状況調査の結果から、どの学年も国語における読解力や表現力等を伸ばすことができた。 昨年、課題となっていた算数や社会で基礎・基本を大切にされた指導により、力を伸ばすことができた。 4年は各教科とも基礎・基本の確実な定着を進めるとともに、個別指導により個々の学力の向上を図りたい。 「ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい」に関して、肯定的な回答が多い。今後も「学びをつなぐ」をキーワードに、授業改善に努めていく。 	C
-------------	---	----------

↑
評価基準
↓

学校関係者評価と意見	<p>(評価) A</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 意欲の向上の兆しが見えてよかった。 昨年度課題の4・5年算数社会科が向上している。 基礎基本が大事であるので、学ぶ意欲が向上するよう家庭との連携も必要である。 基礎基本の習得のためにパワーアップ学習で全校体制で取り組んでほしい。 	C
-------------------	--	----------

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラムデザインにより、教科等横断的に学びが展開できたことが児童が主体的に学び、学びを深め広げることにつながっていた。今後は個別最適な学びが展開されるよう、学びの個性化に焦点を当て、取り組みたい。 4年以上で学校裁量の時間の一部でパワーアップ学習を継続し、定着の時間にあて、基礎・基本の定着を図る。 	A
------------------------------	--	----------

